

2022年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 日本思想史 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

2022年度

大学院文学研究科博士課程後期3年の課程入学試験

(春期・一般選抜) 問題

筆記試験 (日本思想史 専攻分野)

Ⅰ、今後研究しようとするテーマについて、次の二点を記しなさい。(各二〇行程度)

- (1) 今後の研究計画
- (2) 研究の意義と目的

Ⅱ、次の史料を読んで、以下の問いに答えなさい。

- (1) 本文の内容をわかりやすい日本語で要約しなさい。(二〇行程度)
- (2) 傍線部(a)「対立衛生」(b)「間接ノ一大衛生術」(c)「萬民對立衛生」と言われている具体的内容の解釈と、その理由を述べなさい。(二〇行程度)
- (3) 傍線部(イ)の和歌の内容をわかりやすい日本語で説明しなさい。(五行程度)

直接間接ノ差アリト雖トモ人間萬事悉皆衛生ノ外ニ出テス、
故ニ百科傳習ハ固ヨリ衛生ノ正則ニシテ日用彝倫ノ指南針ナ
リ、然レトモ教旨確立セス心學詳説ナク天理牽強人道附會ノ
習俗ニ於テハ學者往々多岐ニ迷テ其歸宿ヲ失フ者アリ、況ヤ
邊境ニ於テハ學校ノ設ケ備ラス、且ツ家繁閑ヲ異ニシ人幸不
幸アリテ人々齊ク學術完備シテ後萬務ニ應用スル能ハサル時
ハ、則一般ノ生靈何ヲ以テ對立衛生ノ基礎ヲ定メン乎、予憶
スニ人常ニ心中衡量算ノ三物ヲ放タス、事々物々ニ就キ我天
賦ノ良智能ヲ振ヒ、其利害得失可否輕重彼我對稱ノ度ヲ較計
シ、我權利ト我義務トラ算定シ之ヲ所謂ル己カ欲セサル所人
ニ施ス勿レト己ノ欲スル所之ヲ人ニ施ストノ二語ニ質シ、以
テ我衛生上ニ歸着シテ我自主自由ナル者ヲ工夫セハ當日萬件
ノ事物悉皆學術講習ノ大學校ナラサルナシ、鍛煉自得一旦體
悟スルニ至テハ所謂ル正則ノ傳習ナシト雖トモ亦大ル過チ無

ラン乎、且ツ人常ニ規矩準繩ノ具ヲ以テ其心意ヲ正理スルナ
 キ時ハ其方圓平直ヲ保ツ能ハス、故ニ業務餘カアル時ハ隨處
 會場ヲ開キ互ニ迂論僻說ヲ吐クモ亦他山ノ石以テ玉ヲ攻ク可
 シ、且又彼ノ會ト此會ト其言行云爲ヲ相衡量算計セハ亦勉勵
 正理ノ一助ナラン、忍耐剛毅年月相磨シ終ニ各自獨立文明ノ
 神靈ヲ輝シ、以テ所謂ル人民ノ返照ナル政府ノ光線ニ注目シ
 官民對稱ノ度ヲ衡量算定セハ、是モ亦各自報國ノ義務ニシテ
 (b) 間接ノ一大衛生術ナラン乎、舜夔々トシテ齊慄スレハ瞽モ亦
 允トシ若フ、至誠衛生ノ道ヲ脩メ以テ勸進誘導セハ政府頑ト
 雖トモ貴族陋ト雖トモ豈ニ遷ラザルノ理アラシヤ、況ヤ大日
 本神國ノ明政府ニシテ聖天子上ニ在マシ群賢之ヲ補佐シ玉ヒ、
 加フニ華族館ヲ開キ士族社ヲ結ヒ各萬物ノ正理ヲ究メ萬事ノ
 正義ヲ討論シ玉フニ於テラヤ、必ス天地ノ公道ヲ發現シテ萬
 民對立衛生ノ光ヲ放タン、假令秋艸一旦凋零ニ至ルト雖トモ
 亦必ス百花爛熳ノ春ニ逢フ可シ、吾同族ノ兄弟モ亦死カラ以
 テ盡サ、ル可シヤ、 (中略)

生靈幾多ノ義務ヲ論スト雖

トモ之ヲ要スルニ所謂ル靈魂ナル者ノ本務ハ唯體天ノ一義ニ
 止マル者ナラン乎、之ヲ社中ノ人ニ問ハシ、因テ暫ラク衡量
 算ノ三字ヲ以テ吾社中ノ普通號ト爲ス、社中ノ人之ヲ腦ニ記
 シ謹テ予カ言ノ當否モ亦衡量算定セヨ

(1) 有めと云ひ無めと名つくも一ト木なり

たゝ咲花の本や尋ねん

明治八年十月一日
天長節〔採菊〕

薇山平民窪田次郎謹題

(窪田次郎)

衡量算社保合録題辭

しより

受験記号番号

3/6

受験記号番号

4/6

受験記号番号

5/6

受験記号番号

$$\frac{6}{6}$$